

【田原本町教育委員会】

校務 DX 計画

1. 各種事務手続きのペーパーレス化

教育委員会と学校間において、各種事務手続き押印の見直しを行い、ペーパーレス化を徹底することで、提出・集計・保存が格段に効率化し、校務の負担軽減を図る。汎用クラウド等を活用して学校や教職員へのお知らせの一斉配信や教育委員会と学校間の情報共有を行うことにより、教職員との情報共有が迅速化且つ円滑化する上、印刷コストや学校が印刷・配布にかかる時間や手間も省け教職員の負担軽減が期待できる。

2. クラウドサービスの活用

教育委員会から各教職員に向けた調査（健康診断調査等）については、学校へデータで集計表を送り、学校で各教職員からの解答を集約したデータが教育委員会に提出されている。また、修正があった場合は、再度修正データを送付するといった状況である。こういった、各教職員に向けた調査については、汎用クラウドサービスを活用することで、回答・集計・提出にかかる手間も省け、各職員が都合の良いタイミングで回答することができ、リアルタイム集計が可能になるため、積極的にクラウドサービスを活用していく。また、セキュリティ対策を前提として学校外において校務用の端末をクラウド利用することで、校務のロケーションフリー化により、働き方の選択肢を増やしていく。

3. 校務、校務外部端末のネットワーク統一

学校において、校務用の「校務端末」、外部と接続する校務用の「校務外部端末」を整備することで、ネットワークを分離して境界を設けセキュリティを担保している。しかし校務外部端末は学校に数台しか整備されていないため、保護者を含め外部とやり取りする際に、分離されたネットワークは教員の業務負担が高まる要因の 1 つとなっている。校務システムの更改のタイミングにおいてスムーズに次世代の校務システムへと移行できるよう、県域で県域 DX 戦略コア会議を設置し、県域でゼロトラストネットワークの理解を深めるために、校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を実施する。